

将来の姿が楽しみです

この通信は、不定期ですが、
月2回ほど発行します。

あっという間に3月になりました。寒暖を繰り返しながらも、日射しや草木の色には春を感じる今日この頃です。

9年生は県立高校の一般入試を無事に終え、ひとまず緊張から解き放たれました。あとは卒業式と入試の結果を待つばかり。人として成長するには、新たな環境に飛び込むことも大切です。彼らがどのような大人になるのかとても楽しみにしています。

しかし、楽しみなのは9年生ばかりではありません。2月には8年生の「立志式」を行いました。当日は残念ながら校長が不在だったのですが、帰校後映像を見せてもらいました。全員が凜とした姿勢で式に臨み、体育館のステージ上で一人一人これからの抱負を述べていました。将来の目標に向かって努力する決意、将来の生き方を堂々と発表する姿には感動しました。9年生になったときの活躍がとても楽しみにになりました。

また、4年生は参観日に「二分の一成人式」を行いました。保護者を前に、家族への感謝の気持ちやこれから頑張りたいことなどを、素直に、心を込めて発表しました。子どもの目にも保護者の目にも涙があふれる感動的な式で、これからの10年も、優しい気持ちのままで育ってほしいと感じたところです。

話は飛びますが、先日、校長が初任の時の同窓会がありました。28年ぶりの再会で、教え子たちはすでに43歳になっていました。1学年7クラスで、かなり元気な子どもが多い学校でしたので、当時はどんな大人になるかずいぶん心配しました。しかし、それぞれがしっかりした社会人になり、勤め先の要（かなめ）として活躍しているようでした。子どもたちは義務教育の9年間では想像できない成長を遂げるということを実感したひとときでした。

人生の節目として「立志式」と「二分の一成人式」を実施しましたが、平岩小中学校の子どもたちも、きっちりっぴな大人になると確信しました。

けっして期待するだけではありません。きちんと支えながら育ちを促すことが大切なので、彼らの意気込みを胸に刻みながら、そして将来の姿を思い描きながら、引き続きしっかり指導していきたいと思います。



学校評価

先日、本年度最後の学校運営協議会を開きました。本校はコミュニティスクールの指定を受けており、地域の代表者が学校運営に参画する仕組みになっています。

実際には、学校の教育活動について様々な意見をいただき、学校はその意見を可能な限り取り入れることで、地域とともによりよい学校づくりを進めていきます。

今回は平成28年度の学校の取組について評価していただきました。大きな課題は、「学力の向上」と「読書活動の推進」です。

「読書は学力向上につながる。充実のためには家庭の協力を得る必要がある。」など、委員からは多くの意見が出されました。

文字や語彙の獲得、情操の安定、創造力の向上など、読書には学力向上につながる多くの要素が含まれます。学校としても、子どもたちが本に親しむ取組を継続していきます。

ご家庭でも、テレビやスマホから離れる時間をつくるなど、子どもが本を手取る環境づくりにご協力ください。



勇気とチャンス

心が変われば、態度が変わる。
態度が変われば、行動が変わる。
行動が変われば、習慣が変わる。
習慣が変われば、人格が変わる。
人格が変われば、運命が変わる。
運命が変われば、人生が変わる。

どこで変えようとするか、人それぞれです。また、大きな節目に自分自身を振り返ることはとても大切で、子どもたちにはこれまでこのことを伝えてきました。

卒業式に飾るプランタの花もきれいな色をつけてきました。体育館から卒業式の歌が聞こえるようになりました。本年度もあと半月で終わります。

自分を変えようとするには勇気が要るものですが、その一歩を踏み出すには進級・進学が大きなチャンスです。

そして、子どもの背中を押してやるのは、私たち大人の役目です。優しく、そっと力を貸してあげたいものです。

